

発行:NPO法人 地域福祉ネットワークいわき
編集:NPO法人
地域福祉ネットワークいわき広報委員会
〒970-8026
福島県いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター3階)
TEL.0246-68-7612 FAX.0246-21-7618
URL.http://npo-fukushinetiwaki.com/
E-mail.yui@npo-fukushinetiwaki.com ご感想はこちらまで

結い

NPO法人地域福祉ネットワークいわき

あなたを包む優しい光になりたい...

「NPO法人地域福祉ネットワークいわき」は、高齢者や障がい者をはじめとした誰もが自らの意志により、どこでどのように暮らすか(暮らしたいか)を決め、実践することのできる地域社会の実現を目指していきます。私たちの組織は平成19年よりいわき市の地域包括支援センター業務を運営しております。

●平成21年度地域包括支援センター活動報告●

平成21年度は、「広報・啓発活動の充実」「関係機関・団体との連携強化」「業務の平準化・専門性の向上」に重点をおいて活動しました。

「広報・啓発活動の充実」

広報誌「結い」を年2回発行し、地域の関係機関やお年よりが利用する地域の商店街などへ配布しました。また、お年よりの集まるサロンなどに出向き、地域包括支援センターの役割を紹介するなど、お年よりに向けた広報活動に力を入れました。

「関係機関・団体との連携強化」

地域住民のみなさまや地域の関係機関・団体の方々とともに、地域についての情報交換や課題を話しあう「地域ケア会議」を各地区で開催し、地域の人々が主となって地域づくりができるように取り組みました。

「業務の平準化・専門性の向上」

職種(保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員)ごとに会議を開催したり、各種研修に参加して、職員の資質向上を図りました。



各センターからのお知らせ

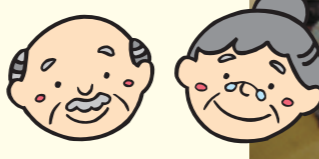
勿来・田人 「うえだふれあい広場」 いわき南地区防犯協会連合会

「うえだふれあい広場」は植田駅舎内にあり、地域の各種団体等がボランティアで、①地域の安全安心の確保、②非行の防止と青少年の健全育成、③高齢者の見守り活動を行っています。勿来・田人地域包括支援センターはその関係機関として、特に高齢者の見守りの部分で、ボランティアの方と密に連携していきたいと考えています。うえだふれあい広場ではボランティアも募集していますので、興味のある方はご連絡下さい。(活動時間は午後3時～午後7時)



小川・川前 高齢者のみなさんの健康や生きがいづくりをお手伝い

小川・川前地域包括支援センターでは、地域で暮らす高齢者のみなさんの健康や生きがいづくりをお手伝いするために、地域の集会所などを利用して、楽しく集まる場「サロン」の立ち上げをお手伝いします。「サロン」について興味のある方は、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。



四倉・久之浜 久之浜大久地区において“地区交流会よってみっせ”を開催します。

どなたでも参加いただけます。是非お越しください。

- 【開催日時・場所】
- 7月2日(金)田之網集会所 ●7月6日(火)金ヶ沢集会所 ●7月8日(木)久之浜公民館
 - 7月13日(火)末続集会所 ●7月16日(金)大久公民館 ●7月28日(水)筒木原集会所
 - 7月23日(金)小久集会所(小久・小山田地区対象)
- 【参加費】無料 【時間】午前9:30～11:30
- 【内容】○地域包括支援センターってなに?? ○介護予防をはじめましょう!!
○久之浜音頭の曲に合わせて体を動かしましょう♪♪



各地域包括センターのお問い合わせ 地域包括支援センターをご利用ください！
介護に関する悩みや心配ごと、健康や福祉、生活に関する事なんでもお気軽にご相談ください。

小名浜地域包括支援センター
住所:小名浜花畑町15-1(小名浜支所内)
TEL:0246-53-4760

勿来・田人地域包括支援センター
住所:錦町大島1(勿来支所内)
TEL:0246-63-2140

常磐・遠野地域包括支援センター
住所:常磐湯本町吹谷76(常磐支所内)
TEL:0246-43-2151

内郷・好間・三和地域包括支援センター
住所:内郷高坂町四方木田191(総合保健福祉センター内)
TEL:0246-27-8660

四倉・久之浜大久地域包括支援センター
住所:四倉町字西四丁目11-3(四倉支所内)
TEL:0246-32-2115

小川・川前地域包括支援センター
住所:小川町高萩字下川原15(小川支所内)
TEL:0246-83-1411

新しい広報委員で第4号の「結い」が無事出来上がり発行されることになりました。新年度を迎え、心身ともに新鮮な気持ちで頑張っていきたいと思っております。さて、法人も設立から、4度目の春を迎えました。その間にメンバーも少しずつ成長し、皆様のそばに寄り添う形になって来たのではないかと考えています。これからも皆様の近くで頑張ります。(C)

編集後記

会員募集
特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわきでは会員を募集しております。地域福祉に対するご意見、ご提案等をお寄せ下さい。

種別	対象
正会員	法人の目的に賛同し、運営に参画する個人及び団体
賛助会員	法人の目的に賛同し、協力又は援助する個人及び団体
協力会員	法人の目的に賛同し、各種活動に協力する個人及び団体

■問い合わせ/ 特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき
〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3(いわき市社会福祉センター3階)
TEL0246-68-7612(事務局まで)

平成21年度 地域包括支援センター活動状況

各地域包括支援センターの、基本事業の取り組み状況をまとめました。各表の数値は7カ所の地域包括支援センターの合計です。

介護予防事業(予防給付・特定高齢者のマネジメント)

心身の機能の低下を予防し、高齢者の方が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう取り組みました。訪問活動の中で地域の情報を把握し、公的なサービス以外にも高齢者の方へお伝えできる情報を増やしていけるよう心掛けています。
(平地域包括支援センターより)



■介護予防ケアプラン作成実績(給付管理実績)

	H20年度	H21年度
事業所委託	14,781件	15,254件
包括直営	11,539件	11,753件
合計	26,320件	27,007件

■特定高齢者事業

	H20年度	H21年度
特定高齢者数	2,868人	4,176人
介護予防事業利用実数	419人	472人

総合相談事業

「総合相談」では電話や窓口での相談の他に、個別訪問を行っています。また、多くの情報が寄せられるよう、地域の集まりに参加したり、民生児童委員などの地域関係者へ働きかけました。介護に関する相談以外にも、健康や福祉、生活に関する事など、最寄りの地域包括支援センターへご相談ください。
(小川・川前地域包括支援センターより)

■平成21年度総合相談対応件数及び訪問件数

	H21年度
相談対応延べ件数	2,303件(月平均:192件)
相談に関する訪問延べ件数	4,594件(月平均:383件)

権利擁護事業

好間地区の民生児童委員定例会で地域包括支援センターで対応した高齢者虐待事例の支援方法や虐待を早期に発見する視点の項目例などを説明しました。

高齢者虐待の相談窓口として地域包括支援センターをご利用ください。
(内郷・好間・三和地域包括支援センターより)



	H20年度	H21年度
虐待相談件数	84件	77件
成年後見相談件数	46件	44件
合計	130件	121件

包括的・継続的ケアマネジメント事業

四倉・久之浜大久地区において「ケアマネネットワーク」を年4回開催しました。地区内の介護支援専門員同士の顔の見える関係作りとケアマネジメントしやすい環境作り、介護支援専門員のスキルアップを目的としています。3ヶ月毎に、事例検討会または、サービス事業所との交流会、医師から地域医療についての講話等を開催しました。

(四倉・久之浜大久地域包括支援センターより)



	H20年度	H21年度
年間開催数	48回	52回
延べ参加者数	880人	1,286人

地域ネットワークづくり

昨年12月、いわき明星大学で「地域づくり研修会」を開催しました。研修には、地域住民や福祉関係機関など多くの方が参加してくださいました。グループワークは、同じ地区に関する参加者同士が顔をあわせて話をする機会となり、地域の課題や解決策などについて、たくさんの意見を交換することができました。(小名浜地域包括支援センターより)



勿来駅前自治会行政区の総会にお伺いし、地域包括支援センターの役割と、地域内の高齢者支援の取り組みについてお話させていただきました。今後は地区の班長さんと話し合いながら、地域にあった活動を一緒に考えていきます。(勿来・田人地域包括支援センターより)

「さはこの湯 ふれあいの集い」を観光公社と共同で開催しました。湯本の炭鉱や温泉街の写真や解説、温泉の話、シルバーリハビリ体操を通じて交流し、近隣や老人会だけでなく、地域をこえて交流したいという声もあがりました。(常磐・遠野地域包括支援センターより)



平成22年度通常総会報告

5月26日(水)に、平成22年度通常総会が開催され、全ての議案が承認されました。

- 【主な質問・意見と回答】
- Q 法人独自事業(「高齢者等の身元引受け(保証人)事業」)の実施に向けたスケジュールについて、6月～10月に事業検討としているが、どのような形で検討するのか?
 - A 実際にやっている所への聞き取り等十分な情報収集と、法律上の課題整理を慎重に進めたい。
 - Q 法人独自事業は、どのような人が担当していくのか?
 - A 地域包括支援センター職員とは別の専門的知識のある人を想定しているが、具体的検討はこれから行う。
 - Q 新規会員確保についてどう考えているか?
 - A 地域包括支援センターの活動や法人独自事業の周知、理解を図りながら会員確保に努めていきたい。

平成22年度事業計画

- ① 地域包括支援センターの適正運営に全力を挙げ、「広報・啓発活動の充実」「関係機関・団体との連携」「業務の平準化、専門性の向上」「評価のしくみづくり」に重点的に取組みます。
- ② 「チームによる業務体制の確立」「効率的な業務運営の検討」「長期計画の策定」に取り組み、より質の高い地域包括支援センターを目指します。
- ③ 法人独自事業として、「高齢者等の身元引受け(保証人)事業」の実施に向けて取組んでいきます。
- ④ 行政と連携し、市計画に最重点施策として位置付けられている「住民参加型の介護予防推進施策」「地域包括支援センターの機能充実」「地域見守りネットワークの構築」「認知症高齢者対策」「高齢者権利擁護対策」を積極的に推進していきます。

